

本郷地区の誇り

## 古が眠る名刹龍興寺跡



龍興寺は永享初年(1430年頃)安居代官藤原清長により創建され、天正二年(1574年)一向一揆の放火のため廃寺となるまで、約150年間繁栄した大寺であった。曹洞宗の寺として八幡町南東の山頂に建立されて、最盛期には七堂伽藍を誇った名刹といわれ、当時「八幡の龍興寺」と呼ばれていた。「越藩拾遺録」には「本郷龍興寺小豆坂ノ奥ニアリ。曹洞希明ノ開祖ニテ、七堂伽藍ノ大寺ナルニ、天正二年兵火ニカカリテ退転シ、希明ハ天真ノ弟子、四哲ノ内也。本尊開山ノ像 宝物等、末寺故二福井心月寺ニ在リ。」と記されている。



ここに記されている小豆坂は、土が小豆色をしている事から名付けられ、大安寺剣大谷より龍興寺に至る道と「越前名跡考」に書かれている。現在は道路も整備され、途中足羽川と九頭竜川や福井の市街地が一望できる。

龍興寺周辺の自然を活用したイベント(史跡学習、参道への植樹、樹木の名札付け、しいたけ駒打ち体験、丸太切り競争、ため池への魚の放流など)を通して子ども達が龍興寺の歴史に親しむ事業を実施している。



夢プラン本郷地区委員会活動組織会長  
吉田 徳寧さん

会長の吉田さんは、「地区の埋もれた歴史を発掘し、後世に伝える為に、毎年春と秋の龍興寺ウォークを通して、史跡龍興寺で歴史学習と周辺の自然体験を実施しています。古を訪ねるイベントにぜひご参加ください」と話す。

本郷公民館

住 所／福井市荒谷町19-55  
電 話／0776-83-0582  
交通機関／乗合タクシー「荒谷」  
停留所から徒歩1分